

2016年(平成28年)9月29日(木曜日)

中 日 新 聞

日本酒の流通簡略化を

英から視察団 飛騨市長らと会談



渡辺酒造店の酒蔵を視察するリードさん(右から3人目)や都竹市長(同4人目)ら＝飛騨市古川町で

世界最大規模のワイン品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」(IWC)の主催者代表で、英国出身のアンドリュー・リードさん(馬)が二十八日、英国から飛騨市を審査するSAKE部

古川町の渡辺酒造店を訪れ、都竹淳也市長や同店の渡辺久憲社長らと日本酒の今後について意見を交わした。同店の「小町桜」は今年、IWCの日本酒部門で、手頃な価格で良質な酒に贈られる部門の最高賞を受賞した。リードさんは海外の飲食店のメニューに日本酒が広まっていることを紹介。「さまざま

な手数料のため日本酒は高価。(手に届くまでの)プロセスを簡略化していくことが大切」と語った。ロンドン在住の日本酒プロモーター、吉武理恵さんは「いきなり純米大吟醸と言っても分からない。伝統だけでなく革新も必要」と指摘した。リードさんら視察団は二十九日までの日程で日本に滞在。関係省庁や山形県の酒造店な

どを訪問している。
(浜崎陽介)